

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2023年8月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**79社**。
当該ISPの約**1.13億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**5,055件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**1,088件**の対象を検知しISPへ通知。

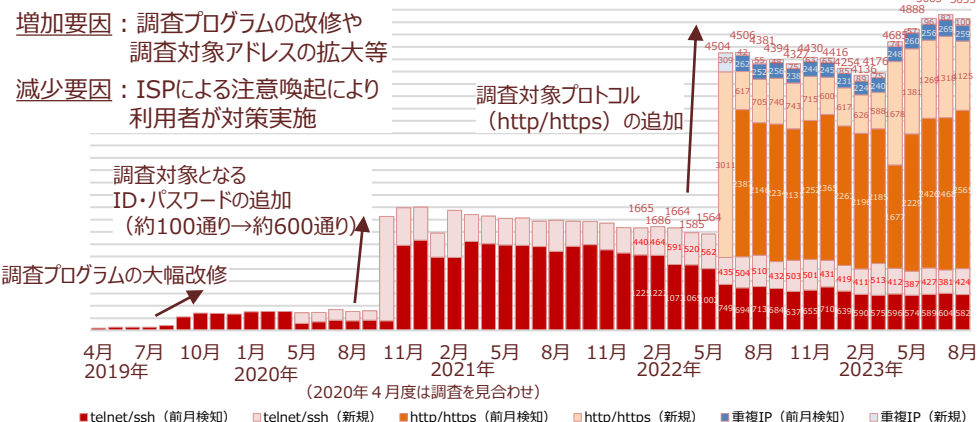
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

5,055件 (7月度:5,122件)

(参考) 2019年度からの累積件数：107,563件
ID・パスワードが入力可能だったもの：27.1万件

*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



NICTER注意喚起※の取組結果

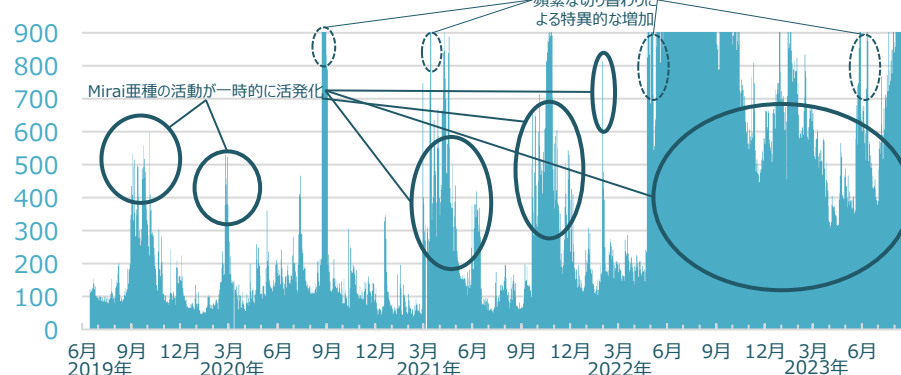
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均1,088件 (7月度:702件)

(参考) 期間全体での値：1日平均463件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,288件(2022/6/6)

***) NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。